

予算を慎重に審議

歳入

寄付金

ふるさと納税

△菅原議員▽

平成26年度のふるさと納税はどのくらいあったか。

△齋藤まちづくり推進課長▽

件数でいくと136件。金額は150万3千円です。内訳は芝ざくらで81件、植樹24件、町内会活動等31件となっております。

歳出

総務費

特別職報酬等審議会経費

△大原議員▽

いろいろ調べてみると別に特別職の報酬を変えなくても何年か1回今の報酬が適正かどうか審議している自治体もある。

滝上町は報酬を変えるときだけ諮問するという考えで良いか。

△齋藤総務課長▽

ベースとなるのは、一般職の人事院勧告の給与が著しく上下したとき、特別職の報酬についても一定の整理をするということでも諮問してきました。今後その方向で進めていきたい。

定住促進空き家活用事業

△大原議員▽

PRは町のホームページだけか。外に考えは。

△齋藤まちづくり推進課長▽

国の移住ホームページサイト、移住関係の専門雑誌、道の町づくり観光センターで都市からの移住に関するサイトを活用する予定です。



ちょっと暮らし住宅内部（旧白鳥小教員住宅）

地域おこし協力隊事業

△松ヶ瀬議員▽

1446万円と額が大きい内容について説明をして欲しい。

△齋藤まちづくり推進課長▽

報償費で3人分、共済費の社会保険料3人分。旅費としてイベント参加等の自主研修。活性化センターで営業しているカフェの賄料代等、負担金・交付金として、協力隊の活動経費として計上しております。

この経費については、国から特別交付税とし

て一人当たり上限400万円が財源措置されています。

△松ヶ瀬議員▽

これだけの経費を掛けて一人辞め、補充する。3年経ったとき結果を出すという部分がこの事業にないような気がする。

せっかく協力隊の方が活動していただくのだから少しでも将来の滝上のために役立てなければならぬ。何か結果が見えてこない。

△長屋町長▽

地域おこし協力隊が作られた背景は都会に住む人たちが地方に移住し、いろんな取組、住民との関わりを通じて気に入ってもらって定住することを狙いとされている。当人が3年間いたいと判断すれば手当がなされるという内容。3年経過し6割・7割が定着している地域もあるし、中には



地域おこし協力隊が運営している「ひだまりカフェ」

民生費

こども園燃料費

△大原議員▽

こども園の燃料費488万円だが、濁川小学校だと390万円で割高ではないか。

灯油、チップ、ペレットを比較した資料があれば教えて頂きたい。

27年度各会計

△奥田生涯教育課長▽
比較表は今持つてお
りません。

ただ、ペレットが年間6万4千キロ、サブボイラーの重油が8千リッターで、積算額が488万円となります。

△大原議員▽

ホテル溪谷の時は重油ボイラーとチップボイラーにした場合の比較をして導入した。チップボイラーの方が安く環境に優しいということだったが、ペレットボイラーについて特に比較はしていないということが良いか。

△奥田生涯教育課長▽

導入の趣旨は経費よりも二酸化炭素削減等がメイン。チップボイラーは施設の合わないので町の方針でペレットボイラーを導入しました。

農 林 業 費

農業競争力強化基盤整備事業

△三島議員▽

この事業は畑作農家の整備ということだが、参加する農家戸数と実施内容、負担率はどうなるのか。

△野尻農政課長▽

実施農家は7戸です。内容は、暗渠排水・除礫・心土破碎・客土の4つの工種に基づいて実施します。負担率は国・道で80%、地元負担20%となっております。

△三島議員▽

農政課で65歳以上の農家を対象に今後の営農等について会議を開催しているが、その結果を知りたい。

△野尻農政課長▽

65歳以上で後継者不在の畑作農家13戸を対象に実施し、様々な意見を聴取いたしました。

現在方向性についてまとめているところです。

今後生産団体・JA等とも協議をしながら早いに振興計画を整備したいと考えております。

雑用水施設

△大原議員▽

施設ができてから4年以上経過していると思うが、本管がパンクでもすると多くの人に負担がかかる。計画的な改修計画はないのか。

△野尻農政課長▽

耐用年数を超えた施設が多いことから、今後計画性を持った対応を考えております。雑用水及び畑かん施設は国営で作った施設ですので、町の負担が最小限になるよう国の補助事業で取り組めないか上部機関と協議中です。

シカ肉アヒージョ製造

△菅原議員▽

シカ肉の生産はどのくらいあるのか。またどこで販売するのか。

△野尻農政課長▽

100gのパックを20000パック製造。販売先は道の駅、ホテル溪谷、札幌のホクレンテナントショップ等で扱う予定です。

△菅原議員▽

シカ肉だけでなく七面鳥等も滝上の特産品として認知されている。新しい開発を切に望む。

森林認証整備事業

△大原議員▽

SGECは国内の単なる認証だが、東京オリンピックの関係で国際認証にしたらという話が出ている。事業者にとつて、費用が莫大にかかると考える。情報があれば教えていただきたい。

△吉田林政課長▽

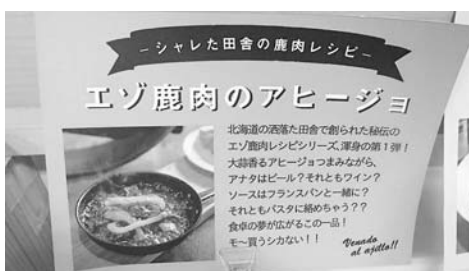
そういう動きがあるのは承知していますが、詳しい情報はまだ入っていません。

△大原議員▽

例えばISOの国際認証を受けるとなると4年で数百万かかるらしい。SGECは国際認証までならなくても良いのではないかと。

△吉田林政課長▽

情報を得た中で検討したいと考えております。



シカ肉アヒージョ